



旭川養護学校
学校だより
発行者
校長 佐々木 建

「一人一人のウェルビーイング」

自立活動部長 竹田 薫

本校の自立活動の取組として身体の活動やコミュニケーション、認知面の学習など「生活にいきる力をはぐくむ」学習を行っています。幼児児童生徒の指導でまず考えることは「将来どんな生活をしていたら幸せか」ということです。「身体的、精神的、社会的に良好な状態、持続する幸せ」をウェルビーイングといいます。他にも「できること」を「していること」につなげることで、幼児児童生徒の主体性を高めていくこと、社会の中で役割をもつこと、などと考えます。

幼児児童生徒の中には障がいにより身体の動きや活動に制限があったり、意思表示をしたりすることが難しいこともあります。

そこを教材の工夫や環境設定、言葉かけ等いろいろな「手立て」で学習、支援しています。

私は「全介助」という考えを取り払うようにしています。なぜならば生活の流れの中で幼児児童生徒ができることはたくさんあり、役割があるのです。そのような視点でいることにより「できるこ



と、できるのではないか」をたくさん発見し、

取り組むように促すことができます。役割があることにより人は頑張ることや、張り切ることができると思います。教師が何でも「してあげるね」という考えではただの「介助者」になり、学習や発達につながらず、また幼児児童生徒の役割を果たす機会を少なくしてしまいま

す。車いすから抱っこで下りるときに、お尻をあげる、身体に力を入れて手足を身体の中央によせるなど協力動作も立派な「できること、役割」です。日々の学習の中でここぞという場面で発声しようと頑張っている姿、今まで経験したことのない姿勢や動きにドキドキしながらも取り組んでいる姿は本当に輝いています。一度の学習で気づくこともあります。反復することにより身体が覚えていき、自分のものとなっていきます。そして幼児児童生徒には「できたこと」「頑張ったこと」についてフィードバックし、たくさんたくさん褒めるようにしています。褒められると嬉しいものです。大人だって褒められると嬉しいですね。自分が頑張ったことに対して、大好きな家族に褒められると、なおさらではないでしょうか。お年頃でちょっと反抗したい気分ときもあるかもしれませんが、褒められることは「やる気」につながると信じています。

時として、じっくり粘り強く待つ姿勢も大事にしています。じっくり考えて動くために動作としてすぐに出ないこともあります。中には「先生、今までやってくれたのに何で私がやるの?」という目で見つめてくる子もいます。「いやいや、できることは自分でするの」というかけひきもあります。焦らず、急かさずと心がけ

ています。

どの幼児児童生徒も様々な経験を通して自身を変化させる力を持っています。学習を通して自ら周囲の人や物に積極的に働きかけることができる、そのような将来像を描いています。

学習、経験の積み重ねで自分を変化させると前述しましたが、人が「行動変容」を起こすために大事な4つの「感」があります。「共感」「なんだろう感」「納得感」「お徳感」です。魔性の攻撃（〇〇しましょう! こうしましょう!）をされても、人の心は動かないものですよ。

この先生との時間はついつい頑張ってしまう、褒められたいから頑張りたい! と幼児児童生徒から思われる教師、指導者になるよう努めていきたいと思っています。

幼・小学部

「宿泊研修、楽しかったね」

九月五日、六日の二日間、

小学部五年生にとって初めての宿泊行事である宿泊研修がありました。みんなでお泊まりをするという事実に始めはピンときていない様子の子どもたちでしたが、事前学習を重ね、当日はみんなワクワクしながらタクシーに乗り込みました。サイパルでは訪問教育学級の同級生とも一緒に活動できました。



ホテルでは、お風呂や食事、浴衣パーティーなど楽しさ満載で過ごしました。二日目は林産試験場で木工作品作りや散策などアクティブに活動し、元氣いっぱい学校に戻ってきました。様々な経験を経て、ちよっと大人になった五年生、来年はここに行くのか楽しみにしているようです。

中学部

十月一日(火)二日(水)に、たくさんの児童生徒や先生方、保護者の皆さんに見送られ、中学部宿泊研修に行ってきました。

一日目の最初の目的地、深山峠アートパークでは「エッチングフレーム」というガラス細工に挑戦しました。自分で考えたデザインに合わせ、小さなルーターを使ってガラスに模様を付け、それぞれ特徴のある作品を完成させました。その後は森のゆ花神楽に移動し、昼食や夕食、入浴、散策と夜までゆっくり過ごしました。二日目は朝食後に大雪がみかわヌクモに移動し、タブレットの画面上で命令ボタンと動作ボタンを線でつなぐことでLEDライトを光らせる「プログラミング体験」をしてきました。

とても簡単に動作と光り方を変えることができた時間を忘れて操作していました。



一人一人がすぐく成長した姿を見せてくれた宿泊研修でした。この経験を元に、来年はいざ札幌へ！

高等部

「バックヤード見学」

高等部遠足で、九月十九日(木)にイオン旭川西店に行ってきました。今回の遠足は、総合的な探究の時間でバックヤード見学についての事前学習を行いました。社会では、これまで学んだ第一次・第二次産業に加え、今年度は第三次産業へのつながりについて学習しました。当日は、見学するそれぞれの部署のシールを持参し、学校運営協議会委員の板橋さんの説明を聞きながら、学習とともにシールラリーも楽しみました。

三階からシュレーターで段ボールが落ちてくる部屋や、生鮮品の冷蔵庫室、総菜づくりの様子等、お客様が快適に買い物できる取組の数々を実際に見学できたことは大変勉強になりました。

生徒たちは、買い物学習やフードコートでの食事、大きなモールを移動しながら店員さんからの呼びかけを受ける等、ひとつの街並みの散策のような高等部遠足を楽しむことができました。



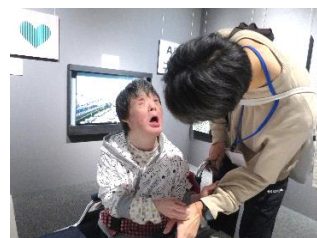
訪問教育学級

「遠足に行ってきましたー!!」

九月十八日(水)には在宅訪問の、九月二十六日(木)には施設訪問の遠足がありました。どちらも天気にも恵まれ素晴らしい秋晴れの中(結構暑かったです)、在宅訪問の皆さんは旭山動物園へ、施設訪問の皆さんは科学館へ行ってきました。

在宅訪問の参加は三名となりました。限られた時間ではありましたがペンギン館やアザラシ館、シロクマ館などたくさんさんの施設を回ることができました。

施設訪問は六名の参加となりました。見て、聞いて、触ってと常設展示を見学した後、プラネタリウムを鑑賞し満天の星空を満喫してきました。どちらも楽しい思い出になったのだと思います。



今後の予定

十月十一日(金)	旭フェス特別時間割開始
十月二十三日(水)	PTA役員会
十月三十日(水)	旭フェス総練習
十月三十一日(木)	旭マル総練習
十一月二日(土)	旭養フェスティバル
十一月三日(日)	文化の日
十一月四日(月)	振替休日
十一月五日(火)	振替休業日
十一月二十日(水)	PTA役員会